

トライアスロン 新世紀

TRIATHLON NEW WAVE

トライアスロンの歴史を読み解き、新時代へ導く



2012年(平成24年)4月20日 NO.3



がんばれ東北!
がんばろう日本!
STURDY TEAM
JAPAN
Japan Triathlon Union

公益社団法人 日本トライアスロン連合(JTU)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-10青山キングビル3F

電話:03-5469-5401 FAX:03-5469-5403 Email:jtuoffice@jtu.or.jp

<http://www.jtu.or.jp>

発行

シドニーで足立はあと一歩で代表を逃す!

代表争いの最後の激戦がスタート!

4月14日(土)、世界トライアスロンシリーズの第1戦シドニー大会が行われた。このシドニー大会と5月12日(土)-13日(日)のサンディエゴ大会、5月26日(土)-27日(日)のマドリード大会で、女子は3位以内、男子は8位以内に入ればロンドン・オリンピック代表に内定する。

女子は、上田藍(シャクリー・グリーントワー・稲毛インター)が、男子は細田雄一(グリーントワー・フェリック・稲毛インター)が代表に内定。また女子は現在、オリンピック出場国別ランキングで3枠で、男子は2枠。つまり、女子は2名、男子は1名の代表が残っている。

後半5kmで遅れた足立

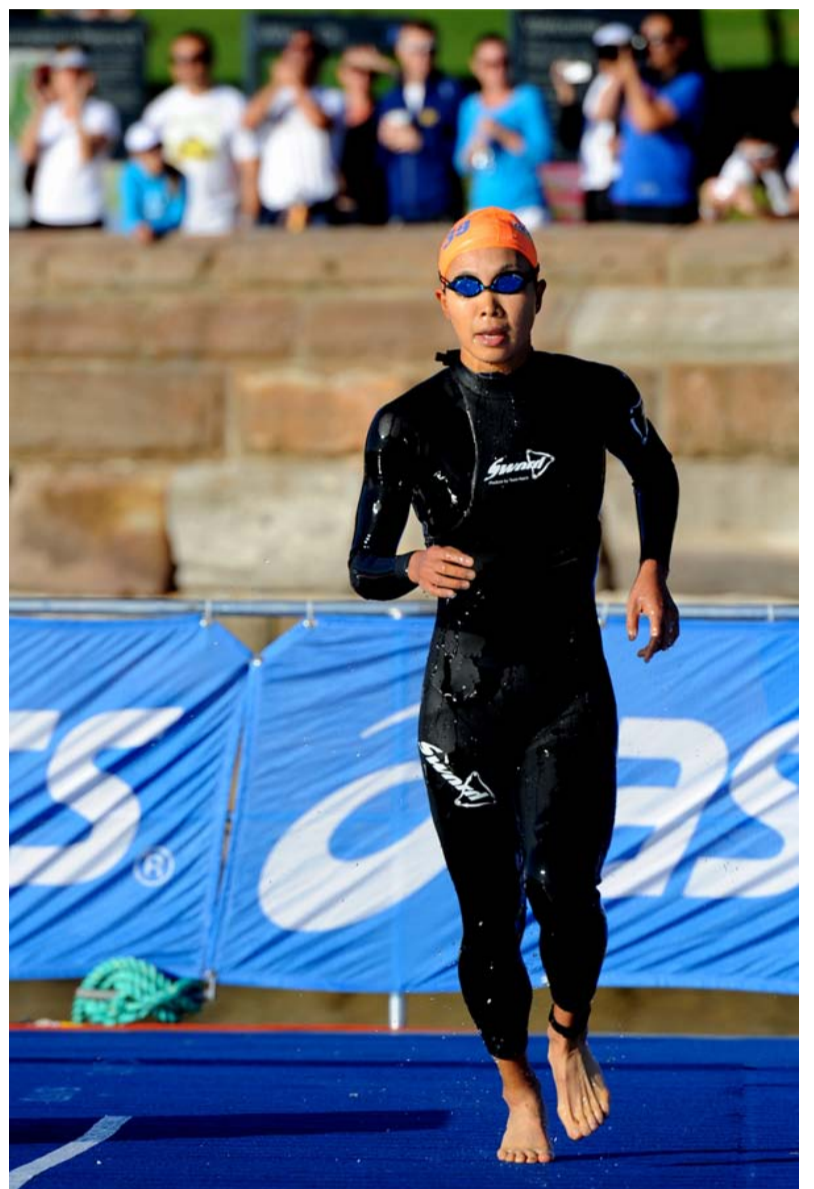
4月7日(土)のアジア選手権(2012/館山)で優勝した足立真梨子(トーションパートナーズ・チームケンズ)はレース後、「シドニー、サンディエゴ、マドリードでは、3位以内をねらう」という宣言通りにスイムから積極的に前に出て、19分7秒でトップフィニッシュ。ロンドンで直接のライバルと目されるヘレン・ジェンキンス(イギリス)、エマ・モファット(オーストラリア)、アイリーン・モリソン(アイルランド)、ローラ・ベネット(アメリカ)、リズ・ブラッチフォード(イギリス)らに28秒もの大差を付けてバイクへと飛び出した。

足立は、バイクでも余裕をもって常に第1集団で戦った。ランでは、ジェンキンス、モファット、ベネット、エリン・デンシャム(オーストラリア)、アイノア・ムルア(スペイン)ら7名を向こうにまわし、5km手前までトップを競った。

しかし、勢いはここまで。後半離されて、優勝したデンシャムの2時間1分29秒のタイムに遅れること1分10秒の9位。足立は、「スイム、バイクと館山のいいイメージをもって戦えた。ランで後半離されたのは、まだ自分に必要なものがあったから。バイクの集団で前方を走れるようにし、ランで遅れた1分を詰めていける」と力強く語った。サンディエゴ、マドリードの2レースで、この差を詰める走りを見せ、代表内定を勝ち取るのか。

2011年のこの大会5位だった崎本智子(枚方スイミングスクール)は、アジア選手権に続いてシドニーでも代表の座獲得をねらっていたが、アジア選手権6位、シドニー49位と元気に終わった。

すでに代表内定の上田は、スイムから遅れてバイクでも追いつけず、得意のランを活かすことができずに54位。スイムの練習量が上がっているとしながらも、ロンドン本番では絶対に遅れられないだけに、このハードルはクリアしなくてはならない。



スイムをトップで上がる足立



7名の先頭集団に入った足立



足立は後半、離されてしまった



オペラハウス前がスタート

細田はランで失速

世界ランキングの上位 3 名が出場していない男子は、前週のアジア選手権で代表を決めた細田はスイムを 18 分 4 秒、それを追う山本良介（トヨタ車体）は 18 分 8 秒と、この大会で優勝したステファン・ユスタス（ドイツ）とほぼ同位置。

バイクでは大集団になり、ラン勝負を挑んだ細田、山本は 1 分以上の差を付けられ、細田 23 位、山本 31 位に沈んだ。スイム、バイクでの頑張りをランに繋げられなければ、8 位入賞には届かないのが現実。

細田は、「スピードに乗るバイクコースで、ランへの足が残らなかった。これから、バイクのマックススピードを上げる練習も必要」と、ロンドンへの大きな課題を見いだした様子。

飯島健二郎ナショナルチーム監督は、「女子は、裏付けのあるレースとなった。足立がランの中盤までトップで戦えたことは収穫。オリンピックは代表選手の誰かが必ずランの第 1 集団に残らなければ、メダルに近づけないのは事実」と、語った。

石垣島では田山に注目!

今週末 22 日（日）は、沖縄県石垣島で ITU ワールドカップが行われる。足立と細田は調整のため欠場となるが、「男女とも、いまの出場枠数を万全なものにするには、さらなるポイントの積み重ねが必要」と山根英紀ナショナルチーム・マネージャーは語る。出場を予定している選手のなかでは、田山寛豪（NTT 東日本・NTT 西日本／流通経済大学職員）に注目が集まる。

田山は、アテネ、北京とオリンピック代表となり、特に北京では 48 位と残念な結果となった。その田山が、ロンドン・オリンピック代表となるためには、サンディエゴ、マドリードで 8 位以内に入り、逆転で代表入りを果たさなければならない。そして、その 2 大会への出場権を得るためには、田山はこの石垣島で少しでも多くのポイントを獲得する必要がある。

田山が頑張ることによって、一步代表レースの先を行く山本にも火が付くだろう。その争いが、日本代表の底上げに繋がるはずだ。



バイクでの戦いが重要と細田



細田は 23 位に